



平成 22 年 11 月 1 日

各 位

会社名 日本ケミコン株式会社
 代表者名 代表取締役社長 内山 郁夫
 (コード番号 6997 東証第 1 部)
 問合せ先 常務取締役 須賀 純一
 (TEL. 03-5436-7711)

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における為替差損の計上、
 通期連結業績予想の修正、配当予想の修正及び剰余金の配当(中間配当)
 に関するお知らせ

平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間における為替差損の計上、平成 23 年 3 月期通期の連結業績予想の修正、配当予想の修正及び剰余金の配当(中間配当)につきまして下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 為替差損の計上

急激な為替相場の変動の影響により、平成 23 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間において、営業外費用に為替差損 12 億 67 百万円を計上いたしました。

2. 平成 23 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 22 年 4 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	123,000	6,000	4,800	2,800	19 67
今回発表予想(B)	125,000	5,500	3,700	2,100	14 75
増減額(B)-(A)	2,000	△500	△1,100	△700	—
増減率(%)	1.6	△8.3	△22.9	△25.0	—
(ご参考)前期実績 (平成 22 年 3 月期)	105,896	△3,036	△3,475	△4,294	△36 11

修正の理由

通期連結業績予想につきまして、海外生産拠点での生産拡充及び外貨建ての原材料等の購入を進めるなど為替リスクの逡減に努めるとともに、収益性の面からは、国内生産拠点における生産性の向上、設備稼働率の更なる向上に着手するなど体質強化に取り組んでまいります。第 3 四半期以降も円高の長期化懸念等もあり、平成 22 年 8 月 2 日に公表しました業績予想を上記のとおり修正いたします。

なお、下半期の為替レートは 1 米ドル=82 円を前提としております。

3. 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭
前 回 予 想 (平成 22 年 5 月 10 日発表)	—	—	—
今 回 修 正 予 想	—	3.00	3.00
当 期 実 績	0.00	—	—
前 期 実 績 (平成 22 年 3 月 期)	0.00	0.00	0.00

修正の理由

当社の配当に関する基本方針は、業績の状況により内部留保とのバランスを考慮しつつ、安定的な配当を実施することとしております。

当期の配当予想につきましては、長期化する円高等不透明な要因はありますものの、当社の配当に関する基本方針に基づき、1株当たりの期末配当予想を3円とさせていただきます。

4. 剰余金の配当(中間配当)

当社は、今後の為替動向及び財務状況等を勘案し、本日開催の取締役会において、下記のとおり決議いたしました。

	決定額	直近の配当予想 (平成 22 年 5 月 10 日公表)	前期実績 (平成 21 年 9 月 期)
基準日	平成 22 年 9 月 30 日	平成 22 年 9 月 30 日	平成 21 年 9 月 30 日
1株当たり配当金	0円0銭	未定	0円0銭
配当金総額	—	—	—
効力発生日	—	—	—
配当原資	—	—	—

※ 本資料に記載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料に記載した予想とは異なる可能性があります。

以 上